

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公開番号】特開2011-22180(P2011-22180A)
【公開日】平成23年2月3日(2011.2.3)
【年通号数】公開・登録公報2011-005
【出願番号】特願2009-164515(P2009-164515)
【国際特許分類】

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 F 1/1335 5 0 0

【手続補正書】
【提出日】平成24年4月12日(2012.4.12)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

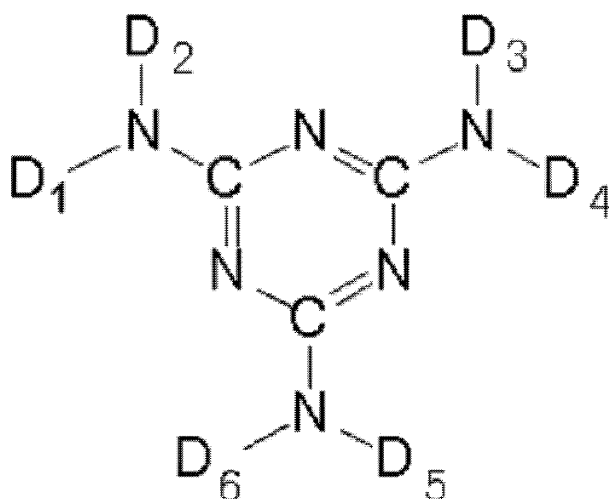
顔料 (A) と、活性エネルギー線硬化性単量体 (B) と、熱硬化性メラミン化合物および／またはその部分縮合物の混合物 (C) と、シリコン系界面活性剤および／またはフッ素系界面活性剤 (D) とを含むカラーフィルタ修正用着色組成物であって、シリコン系界面活性剤および／またはフッ素系界面活性剤 (D) の含有量が、カラーフィルタ修正用着色組成物を 100 重量部としたとき 0.1 ～ 10 重量部であることを特徴とするカラーフィルタ修正用着色組成物。

【請求項 2】

熱硬化性メラミン化合物および／またはその部分縮合物の混合物 (C) が、一般式 (1) で示される構造を有することを特徴とする請求項 1 記載のカラーフィルタ修正用着色組成物。

一般式 (1) :

【化 1】



(一般式(1)中、 $D_1 \sim D_6$ は、独立した置換基であり、 CH_2OCH_3 、または $CH_2OC_4H_9$ である。)

【請求項 3】

活性エネルギー線硬化性単量体(B)が、三つ以上の官能基を有する多官能単量体および／または、二つの官能基を有しており25℃での粘度が30mPa・sよりも高い多官能単量体(B1)であることを特徴とする請求項1または2に記載のカラーフィルタ修正用着色組成物。

【請求項 4】

活性エネルギー線硬化性単量体(B)が、さらに、25℃での粘度が30mPa・s以下であり、単官能および／または二官能の活性エネルギー線硬化性単量体(B2)を含有することを特徴とする請求項3に記載のカラーフィルタ修正用着色組成物。

【請求項 5】

カラーフィルタ修正用着色組成物のガラス基板に対する接触角が、カラーフィルタ修正用着色組成物がガラス基板に接触してから2秒後に25度以上であることを特徴とする請求項1～4いずれかに記載のカラーフィルタ修正用着色組成物。

【請求項 6】

請求項1～5いずれかに記載のカラーフィルタ修正用着色組成物を用いて、カラーフィルタのフィルタセグメントの欠陥部分を修正することを特徴とするカラーフィルタの修正方法。

【請求項 7】

請求項1～5いずれかに記載のカラーフィルタ修正用着色組成物を用いて、カラーフィルタのフィルタセグメントの欠陥部分が修正されたカラーフィルタ。